

企画展「見て、知って！とやまヒストリー2026」の概要

1 会期

令和8年4月17日（金曜日）～9月24日（木曜日）

2 趣旨

県内で発掘調査され、県埋蔵文化財センターで収蔵している出土品を展示し、旧石器時代から近現代までの富山県の歴史を学ぶことができます。特に、歴史学習に初めて出会う小学6年生と中学1年生には、県の歴史を学習するうえで最適な機会となります。

3 展示内容

各時代の特徴的な資料を多くの出土品の中から厳選して展示するほか、館内を巡って簡単なクイズを解くコーナーを設けるなど、富山県の通史や考古学を楽しく学ぶことができます。

また、本年度の特設コーナーとして「古今東西合戦—東西文化の合流地 とやま—」を設けました。富山県は日本列島の中心に位置し、昔から東西の文化が合流する場所であったことから、東西それぞれの影響を受けた出土品を紹介しており、東西からの様々な影響を知ることができます。

4 学校との連携

①出前授業

当センターの職員が土器や石器を持って、学校に出向きます。発掘された本物の土器に触れたり、火起こし、勾玉作りを体験したりすることができます。

②来館学習

当センターに来館し、施設内を見学したり、体験活動をしたりします。活動場所や時間などに応じて、様々なプログラムを組むことができます。

令和7年度の実績

出前授業	7校
来館学習	18校
合計	25校



出前授業の様子



来館学習の様子